

イングリット・フジコ・ヘミング

2012.12.26

Christmas Boxing Day Concert

クリスマス ボクシング・デー コンサート

演奏曲目

Program

S. ラフマニノフ【1873-1943】

13の前奏曲 作品32より 第5番 ト長調

13 Préludes Op.32 No.5

《幻想的小品集》作品3より 第2番 前奏曲 嬰ハ短調「鐘」

Morceaux de fantaisie Op.3 No.2 Prélude

M. ムソルグスキー【1839-1881】

組曲「展覧会の絵」

Les Tableaux d'une exposition

第1プロムナード

1. 小人(グノーム)

第2プロムナード

2. 古城

第3プロムナード

3. テュイルリーの庭...
遊びの後の子供たちの口げんか

4. ビドロ(牛車)

第4プロムナード

5. 卵の殻をつけた雛の踊り

6. サムエル・ゴールデンベルクとシユムイレ

第5プロムナード

7. リモージュの市場

8. カタコンベ・ローマ時代の墓
(死せる言葉による死者への呼びかけ)

9. バーバ・ヤーガの小屋

10. キエフの大門

休憩
Intermission

R. シューマン【1810-1856】

謝肉祭「4つの音符による面白い情景」

Carnaval 'Scènes mignonnes sur quatre notes' Op.9

1. 前口上

2. ピエロ

3. アルルカン(道化役者)

4. 高貴なワルツ

5. オイゼビウス

6. フロレスタン

7. コケット(浮気女)

8. 返事...スフィンクス

9. 蝶々

10. A.S.C.H.-S.C.H.A.一踊る文字

11. キアリーナ

12. ショパン

13. エストレッラ

14. 再会

15. パンタロンとコロンビーヌ

16. ドイツ風ワルツ;パガニーニ

17. 告白

18. プロムナード

19. 休息

20. フェリシテ人と戦うダヴィッド同盟の行進

F. ショパン【1810-1849】

幻想即興曲 嬰ハ短調 作品66

Fantaisie-Improptu Op.66

F. リスト【1811-1886】

「3つの演奏会用練習曲」作品144より 第3番「ため息」

"Un Sospiro," S.144-3 (Trois Études de Concert)

パガニーニ大練習曲 第3番「ラ・カンパネラ」

"La Campanella," S.141-3 (Grandes Études de Paganini)

※都合により曲目・曲順が変更となる場合がございます。予めご了承下さい。

イングリット・フジコ・ヘミング ピアノコンサート



INGRID FUZJKO HEMMING

スウェーデン人建築家ジョスタ・ジョルジ・ヘミングと東京音楽学校（現・東京芸術大学）出身のピアニスト大月投網子を両親としてベルリンで生まれる。母の指導で幼い頃からピアノを始めた。10歳のとき、レオニード・クロイツァーにつき、大きな影響をうける。クロイツァーは、彼女が将来、世界中の人々を魅惑するピアニストになるだろうと予言していた。青山学院、東京芸術大学をへて、NHK・毎日コンクール受賞、日本フィルなど数多くのオーケストラと共演、来日中のサムソン・フランソワは、フジコのショパン、リストを聴き絶賛。その後、ベルリン国立音楽学校に首席で入学。その後、ウィーンに移り、後見人でもあったパウル・バドゥーラ・スコダに師事した。

今世紀最大の一人ともいわれる作曲家・指揮者のブルーノ・マデルナにウィーンで才能を認められ、彼のソリストとして契約したことは、彼女が最も誇りとしているところのひとつである。ちなみにこの成約に際しては、彼女の演奏に感銘を受けたレオナード・バーンスタインからのサポート（支持・援助）があった。ヨーロッパでの多くの演奏会は大成功をおさめた。

1968年すでにドイツの“Die Welt”紙は「ピアノを弾くため、ショパンとリストの為に生まれて来た」また「日本からピアニストが出た」と報じている。ドイツ、オーストリア、スウェーデンでの放送は、好評につき、たびたび再放送された。

その頃、フジコ・ヘミングは、ウィーンで演奏会直前に聴力を失った。

1999年、NHKで放送されたETV特集は、大反響を呼び、その後、何度も再放送される。

デビューアルバム“奇蹟のカンパネラ”はクラシック界では異例の300万枚の大ヒットとなる。4回のゴールドディスク大賞等は、前代未聞。彼女の他に誰もいない。ロイヤル・フィル、モスクワ・フィル、ハンガリー・フィル、パリコンサート・ソサエティオーケストラ、スペイン国立放送交響楽団、イングリッシュ・シャンパー、ジョルジ・エネスフィルハーモニー、リトアニア・シャンパー、ミュンヘン交響楽団などと、国内外で活動を続けている。2013年には、モスクワ・フィル、チェコラジオシンフォニーなどからソリストとして招待されている。世界各国の定期公演に出演し、その名声を海外に広げている。また、彼女は音楽活動のみに留まらず、米国同時多発テロ後の被災者救済のために年間CDセールスの印税を全額寄付やアフガニスタン難民のためのチャリティー活動、動物愛護への深い関心と援助を長年続けている。彼女は、多くの共演したアーティストから、驚きの目を向けられている。

いろいろなフェスティバルから招待され、2010年、ワルシャワのショパンフェスティバルにVIPのみの招待客で行われた特別なコンサートに招待され、ロンドンのBBCは、VIPとしてのインタビューとライブ演奏を放送している。

2012.12.26 森のホール21 大ホール